

第18回 昭和大学薬学部同窓会東京支部研修会

- 糖尿病の薬物治療 -

糖尿病治療の基本は食事療法と運動療法ですが、多くの患者は十分な血糖コントロールを得られず薬物療法が必要となります。欧米では医療保険の違いなどから安価なメトホルミンがよく処方されていますが、日本に於いては血糖降下作用が十分でない等により他剤と併用がされているケースが多いのが現状です。直近10年間における糖尿病治療薬の進歩は、目を瞠めるものがあり、御存知の通りDPP-4阻害薬、GLP-1受容体作動薬、SGLT2阻害薬などが続々と上市され、徐々にそれぞれメリットや最も注意すべき低血糖リスクについても評価が進んできました。伊藤先生には、薬剤師が実践すべき糖尿病治療薬のチェックや処方設計などを踏まえて、糖尿病治療薬の進歩をお話いただき、参加の先生方を含めた様々な議論ができる機会を作っていただけるものと存じます。多数のご参加をお待ちしています。

【演題と講師】

演題：薬剤師が実践する糖尿病薬物療法と治療薬の進歩

講師：伊藤 淳雄 先生
湘南東部総合病院 薬剤部

【日時】 平成31年5月25日（土）16時より18時まで

【会場】 昭和大学4号館201号室（東京都品川区旗の台1-5-8）
東急池上線旗の台駅より徒歩約7分

【参加費】 東京支部会員で今年度年会費未納の会員様には受付にて年会費2000円を承ります
非会員 1000円

【その他】（公財）日本薬剤師研修センター 集合研修
1単位（予定）

【主催】 昭和大学薬学部同窓会東京支部会

【共催】 一般社団法人 昭和薬学研修協会

【参加申し込み】

事前登録は特に必要ありません

下記メール連絡先にてお問い合わせやご連絡を承ります。

【連絡先】

ikegamiyaku@gmail.com

事務局：

昭和大学薬学部同窓会東京支部会

〒142-0064

東京都品川区旗の台2-2-15

昭和大学50年記念館内

FAX：03-3784-8076

